

2009年3月5日

Bunkamura開館20周年を記念して、 3月7日、東急電鉄の無料情報誌「SALUS」の特別号を発行します

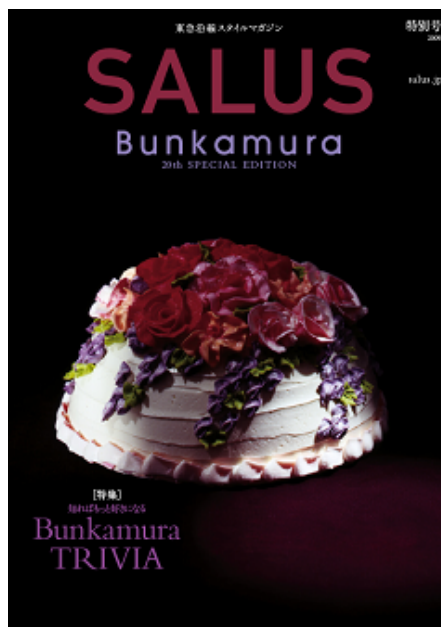
東京急行電鉄株式会社
株式会社東急文化村

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、複合文化施設「Bunkamura」（所在地：東京都渋谷区）が今年9月に開館20周年を迎えるのを記念して、2009年3月7日（土）、東急沿線スタイルマガジン「SALUS（サルース）」の特別号を発行します。

日本初の複合文化施設として1989年に誕生した Bunkamura は、オペラ、バレエ、コンサート、演劇、展覧会、映画などを企画、発信し、毎年約280万人のお客さまにお越しいただいています。SALUS の Bunkamura20周年記念特別号では、より多くのお客さまに Bunkamura の魅力を伝え、芸術文化に触れるきっかけにさせていただきたいとの思いをこめて、上質なライフスタイルの提案を編集コンセプトとしている SALUS ならではの視点で、施設・公演紹介や周辺のお店情報をお届けします。

毎月20日に発行している SALUS では、毎号、表紙に沿線の人気店のスイーツを起用しています。特別号では、「スイーツマニアック」（世田谷区上野毛）とタイアップし、Bunkamura20周年を祝福する花束をイメージし、「アニバーサリー・ブーケ」と名づけたオリジナルケーキの写真が表紙を飾ります。

このオリジナルケーキは、3月7日より、Bunkamura に展示されます。さらに、同日より同所で開催されるイベント「桜、Blooming Party 2009」において、スイーツマニアックが企画した Bunkamura 限定の特別メニューを提供します。



SALUS Bunkamura20周年特別号の概要は、別紙のとおりです。

(別紙)

「SALUS Bunkamura20周年記念特別号」の概要

発行： 2009年3月7日(土)

発行部数： 15万部

配布場所： 東急線主要30駅と Bunkamura にて無料配布

【配布駅】

東横線渋谷・代官山・中目黒・学芸大学・自由が丘・田園調布・元住吉・日吉・綱島・
菊名・横浜・田園都市線渋谷・池尻大橋・三軒茶屋・駒沢大学・桜新町・用賀・二子玉川・
溝の口・鷺沼・たまプラーザ・あざみ野・青葉台・長津田・中央林間・目黒・蒲田・
五反田・大井町・大岡山

ページ数： 24ページ

掲載内容： 【特集】「知ればもっと好きになる Bunkamura TRIVIA」

Bunkamura をご利用いただいたことのない方にも興味を持っていただけるよう、
施設そのものの魅力や、バックステージのヒミツなどをご紹介します。

【街シリーズ・特別編】「渋谷」～ 公演前後に訪れたい、大人のための美食空間～

Bunkamura の公演出演者やスタッフ達も足繁く通う、味・サービス・雰囲気の三拍子が
そろった美食店をご紹介します。

ほか

(参考)

東急沿線スタイルマガジン「SALUS」について

「SALUS (サルース)」は、東京急行電鉄が発行している無料情報誌です。消費動向に大きな影響力を持ち、東急沿線の街への関心が高い20歳代から40歳代の女性をターゲットに、「東急沿線スタイルマガジン」というキャッチフレーズで、ライフスタイル提案情報と沿線情報を発信しています。毎月20日に発行し、東急線・横浜高速鉄道みなとみらい線各駅や東急線沿線の東急ストアなどの東急グループ各施設で配布しています。ページ数は60ページで、毎月23万部を発行しており、同名のWEBサイト (<http://salus.jp>) も展開しています。

複合文化施設「Bunkamura」について

「Bunkamura」は、<さまざまな文化を通して、未来を創る>をコンセプトに、1989年に渋谷に誕生した、日本初の大型複合文化施設です。オーチャードホール(コンサートホール)、シアター・コクーン(劇場)、ザ・ミュージアム(美術館)、ル・シネマ1・2(映画館)の各施設をはじめ、カフェ・レストランやアート関連ショップなどからなるクリエイティブな空間は、オープン以来、新しい文化の発信基地として常に注目を集めています。さまざまな文化・芸術に触れることができるだけでなく、ゆったりとした時間を過ごせる、渋谷の人気スポットとして、年間280万人の方が訪れています。

以上